

料を得ることができ、この2か年の研究成果をまとめて「伸びゆく青年学級」として編集することができ、今後の本県青年学級の開設運営、指導方法について大いに参考になるものと思う。

9 県青年学級研究協議会の設置

- (1) 趣旨 青年学級の振興について調査研究するとともに、指導者の育成と指導資料等の研究にあたり、本県青年学級はもちろん勤労青年教育の振興に資する。
- (2) 委員 20名

教育事務所名	氏名	年齢	職業	勤務先	住所
信夫	山河 信海	52	公民館長	福島市中央公民館	福島市御山町西坂8
伊達	春日 一憲	27	公民館主事	国見町公民館	伊達郡桑折町南半田字土下ヶ入1
安達	武藤 正四	50	社会教育主事	岩代町教育委員会	安達郡岩代町小浜横町1の2
郡山	今泉 修蔵	39	公民館長	郡山市立安積公民館	郡山市安積町荒井字芝宮23
岩瀬	高久田 一郎	53	公民館長	須賀川市公民館	須賀川市本町7
南会津	室井 康弘	45	社会教育主事	田島町教育委員会	南会津郡田島町後原3772の24
北会津	渡部 宏	43	社会教育主事	会津若松市教育委員会	会津若松市南町北川原丁104
耶麻	新井 剛	51	公民館長	喜多方市公民館	喜多方市豊川町下高領
両沼	伊東 実	43	社会教育主事	会津高田町教育委員会	大沼郡会津高田町字高田上町
西白河	徳積 勇蔵	39	社会教育主事	表郷村教育委員会	西白河郡表郷村大字番沢字成金1の1
東白川	小野 隆男	34	社会教育主事	塙教育委員会	東白川郡塙町大字塙字桜木町
石川	渡辺 幹男	43	公民館長	古殿町公民館	東白川郡古殿町大字松川字横川177
田村	佐藤 春男	38	社会教育主事	船引町教育委員会	田村郡滝根町大字菅谷字沖田399
いわき	石川 佐中	48	社会教育主事	いわき市教育委員会	いわき市大字下神白字館の腰36
双葉	吉田農大雄	57	社会教育主事	大熊町教育委員会	双葉郡大熊町
相馬	宝玉 義信	48	公民館長	原町公民館	原町市大町2丁目27
信夫	守谷 督野	50	社会教育主事	吾妻町教育委員会	信夫郡吾妻町大字笹木野字笹木原
伊達	中村 敏男	50	社会教育主事	梁川町教育委員会	伊達郡梁川町字南本町4
田村	渡辺 利雄	63	公民館長	三春町教育委員会	田村郡三春町南町54
郡山	和知 謙	46	社会教育主事	郡山教育事務所	郡山市虎丸町135

- (3) 事業内容
- ① 調査 青年学級開設運営、指導方法についての調査研究
 - ② 研究集会、県内青年学級に対する助言指導
 - ③ 青年学級ならびに青年講座における学習内容および指導方法についての研究
 - ④ 資料の作成
 - ア. 青年学級における生活指導
 - イ. 年長青年学級学習課程（職業農業科編）
- (4) 協議内容と効果
- 昨年度に引きつづき、県研究青年学級と連携をもちながら、勤労青年の欲求と社会の要請に基づく、学習課程編成のための手がかりとしての年長学級の職業（農業科）学習課程を編成するとともに、生活指導について研究し、伸びゆく青年学級としてまとめた。さらに年長青年学級にお

ける教育の充実、都市における企業内学級、商店学級等の拡充の問題、広域にわたる青年学級の運営等について研究協議し、今後の青年学級の拡充推進のための調査研究を実施したので、本県勤労青年教育のため本協議会の果している役割はまことに大きいものである。

10 協力して行なった他の青少年関係事業

- (1) 第5回県少年団体大会
- ① 趣旨 子どもの日にあたり、県下少年団体の日頃の活動状況の交歓を通じて、ますます団体活動を助長するとともに、少年教育に対する社会的関心を高め、もって本県少年教育の振興に資する。
 - ② 期日 41.5.5
 - ③ 会場 郡山市逢瀬町 浄土松公園
 - ④ 主催 福島県、福島県教育委員会、福島県青少年問題協議会、郡山市教育委員会
 - ⑤ 参加者 子ども会員、ボーイスカウト、ガールスカウト、青少年赤十字、スポーツ少年団等 5,000人
 - ⑥ 実施内容
 - ア. 記念式典 激励のことは、ちかいは
 - イ. 花ともだち風船あげ
 - ウ. こども音楽会、レクリエーション大会
 - エ. たこあげ大会、宝の山探検
 - オ. 紙芝居大会、巣箱コンクール、模型船舶大会
 - ⑦ 効果 浄土松公園での式典ならびに各行事を通して少年教育に対する社会的関心が高まるとともに、演技、交歓等により各団体相互の理解と友情を深めることができ、今後の団体活動に大きな意欲と刺激を与えたものと思う。
- (2) ボーイスカウト年少部指導者養成講習会
- ① 趣旨 ボーイスカウト年少部指導者および指導にあたらうとする者、小学校や子ども会のリーダーが一堂に会し、カビングの原理を理解し、課題を研究し実習に参加することにより、その熱意をたかめ、隊および組等グループ運営と指導技術に習熟する。
 - ② 期日 41.4.29～30
 - ③ 会場 耶麻郡猪苗代町 国立磐梯青年の家
 - ④ 講師 ボーイスカウト福島県連盟理事長秋月鏡外県連盟役員、県教育庁社会教育課員
 - ⑤ 参加者 ボーイスカウト年少部リーダー、その他子ども会指導者 30名
 - ⑥ 実施内容
 - ア. スカウト教育全般、BS、GSの歴史
 - イ. 指導者精神、ページェント、ゲーム
 - ウ. 組集合法、戸外活動、家庭との協力
 - ⑦ 効果 指導者の養成講習としては人数も理想的で参加者は終始熱心に研究討議、実技にはげみ、これからの目的団体育成の基礎的理論を習得し、今後の活動の意欲が生じたものと思われた。

第3節 成人（婦人）教育

1 概況